

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事（土木工事等）

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他（ ）		
工事の種類		☒ 新築工事 ☐ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☒ その他（鉄筋コンクリート擁壁設置）		
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☒ 木材		
工作物に関する 調査の結果	工作物の状況	築年数 _____年 その他（ （新築工事の場合は空欄、維持修繕工事、解体工事は関係しそうな事項を記入） ）		
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☒ 学校 ☐ 病院 ☐ その他（ ） 敷地境界との最短距離 約 <u>3</u> m その他（幹線道路沿い、交通量多い）		
工作物に関する 調査の結果及び 工事着手前に 実施する措置の 内容	工作物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所		作業場所 ☐ 十分 ☒ 不十分 その他（ ）	道路占用許可済、道路使用許可済 (作業場所の確保が困難な場合、具体的な対策を記入)
	搬出経路		障害物 ☐ 有（ ） ☒ 無 前面道路の幅員 約 <u>10</u> m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他（ ）	支障なし 前面道路に交通誘導員配置（作業中） (支障が生じる場合は具体的な対策を記入)
	特定建設資材への付着物 (解体・維持・修繕工事のみ)		☐ 有（ ） ☐ 無	(新築工事の場合は空欄)
	他法令 関係 (解体・維持・修繕工事のみ)	石綿（大気汚染防止法・安全衛生法石綿則・大阪府生活環境の保全等に関する条例）	☐ 有（ ☐ 飛散性石綿（吹付け石綿等） ☐ 非飛散性石綿（石綿含有成型板等） 使用面積_____m ² ☐ その他（ ） 特定建設資材への付着（ ☐ 有 ☐ 無） ☐ 無	事前調査結果報告 ☐ 報告済 ☐ 報告予定 ☐ 報告対象外 (新築工事の場合は空欄) 特定粉じん排出等作業実施届出 ☐ 届出済 ☐ 届出予定 ☐ 届出対象外 (新築工事の場合は空欄)
	その他		(有害物質等がある場合は種類を具体的に記入) 沿道住民に工事内容を広報、周知 (有害物質等がある場合は具体的な対策を記入)	
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容		分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (アスファルト舗装)	その他の工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		□上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他（ ） その他の場合の理由（ ）		
工作物に用いられた建設資材の量の見込み（解体工事のみ）		トン		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み（全工事）並びに特定建設資材が使用される工作物の部分（新築・維持・修繕工事のみ）及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分（維持・修繕・解体工事のみ）	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分（注）
		☒ コンクリート塊	10 トン	☐ ① ☒ ② ☒ ③ ☒ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☒ アスファルト・コンクリート塊	20 トン	☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
		☒ 建設発生木材	3 トン	☒ ① ☐ ② ☒ ③ ☒ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
	(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他			
備考				

□欄には、該当箇所「レ」を付すこと。